

令和5年度（2023年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

憲 法

A日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和5年度（2023年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	憲	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（20点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

Aは、B市在住の地域史家であり、B市における在日朝鮮人の人々の生活を個人的に調査していた。Aは、これまでの自身の研究成果を公表する目的で、企画展「B市朝鮮人部落100年史」を開催するため、2022年8月1日から同月3日までの期間に、C市立勤労文化会館（以下、「C市会館」とする）の展示スペースの利用申請を行い、同年4月1日にC市会館から利用承認を受けた。

しかしながら、その後、C市会館には、B市内の一部の市民団体などから、本件企画展に対する抗議の電話やメールが多数寄せられるなど、C市会館近辺において街宣車による抗議活動が複数回にわたり行われるようになった。そこで、C市会館は、同年7月1日に、本件企画展に反対する団体の構成員等による妨害行為などへの懸念から、本件企画展の開催中に、C市会館の利用者の安全を確保することは極めて困難であるとして、C市会館条例5条4号の「本件会館の管理上支障があると認められるとき」に該当するとして利用承認の取消処分を行った。対して、Aは利用申請の取消処分の効力停止を申し立てた。

[問い]

上記事例に含まれる、憲法上の問題点について、関連する判例に言及しつつ論じなさい。

問題2（5点）

合憲限定解釈について、関連する判例に言及しつつ説明しなさい。